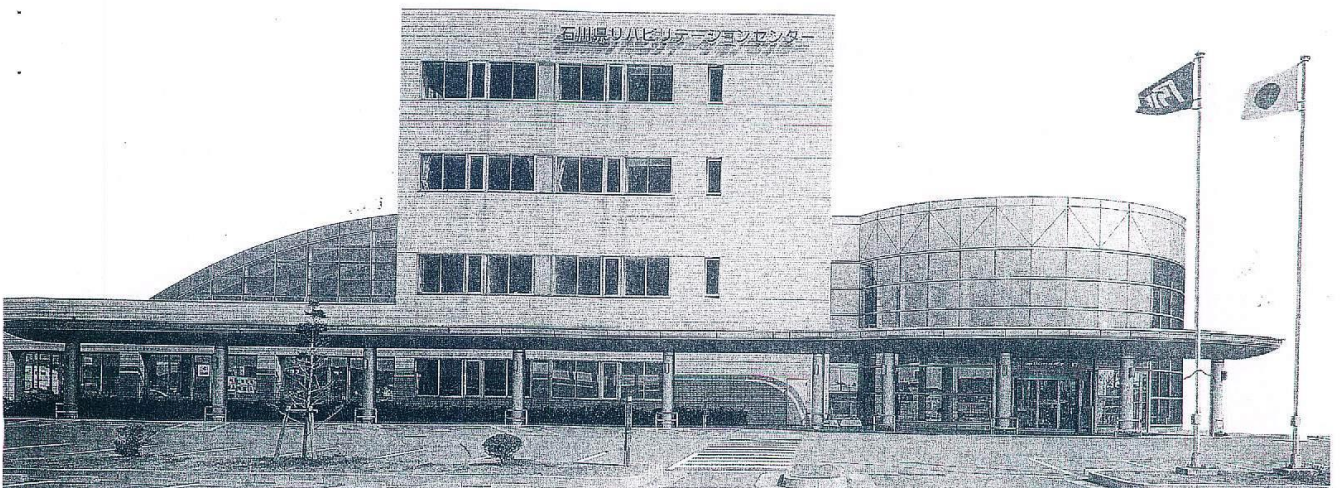


石川県リハビリテーションセンター

ISHIKAWA PREFECTURAL REHABILITATION CENTER

平成30年度事務提要



目 次

第1	施設の概要	2
第2	組織及び分掌事務	5
第3	職員数（平成30年4月1日現在）	6
第4	平成29年度の事業実績	
I	県リハビリテーション支援センターの状況	
1	地域リハビリテーション推進事業	
(1)	地域リハビリテーション推進検討会議の開催	7
(2)	地域リハビリテーション支援事業	7
(3)	リハビリテーション専門職広域派遣支援事業	10
2	支援指導事業	
(1)	リハビリテーションに関する啓発普及	12
(2)	研修	12
3	福祉用具研修・普及事業	
(1)	研修	13
(2)	普及事業	14
(3)	バリアフリー体験住宅「ほっとあんしんの家」の利用状況	16
4	リハビリテーション技術支援ネットワーク強化事業	
(1)	地域における障害（児）者への自立支援機器の普及促進事業	18
(2)	自立支援機器活用研修事業	21
II	バリアフリー推進工房の状況	
1	福祉用具・住環境に関する相談・支援事業	24
2	研究開発事業	25
3	技術普及・啓発	26
4	福祉用具の貸出	27
III	難病相談・支援センターの状況	
1	難病相談	28
2	患者交流会	28
3	研修会	28
4	連携会議	32
5	患者会支援	32
IV	高次脳機能障害相談・支援センターの状況	
1	高次脳機能障害相談	35
2	高次脳機能障害者及び家族を対象にした教室	35
3	高次脳機能障害研修会	36
4	高次脳機能障害普及啓発	37
5	高次脳機能障害支援関係者連絡会	38
6	医療機関実態調査	38
7	患者・家族会支援	38

第1 施設の概要

1 庁舎

所在地 金沢市赤土町ニ 13-1

敷地面積 7,534.62㎡

建 物 鉄筋コンクリート造陸屋根 4階建

延べ床面積 4,356.77㎡

1階床面積 1,864.42㎡

2階床面積 1,140.05㎡

3階床面積 676.15㎡

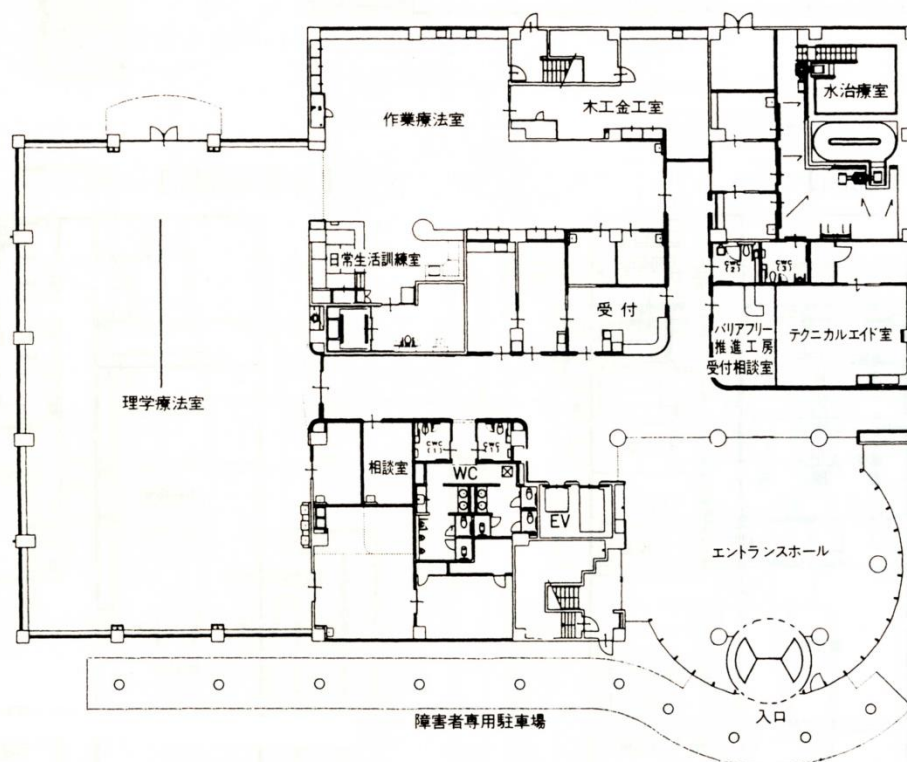
4階床面積 676.15㎡

その他 屋外訓練庭園 929.64㎡

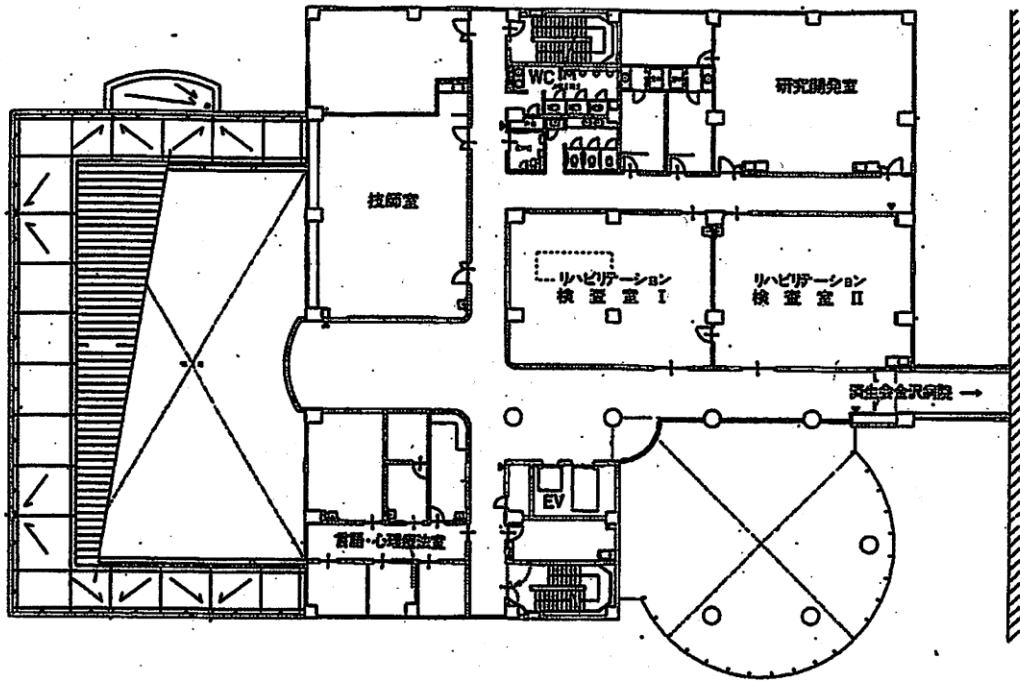
屋根付き障害者専用駐車場

プレハブ造車庫 46.75㎡

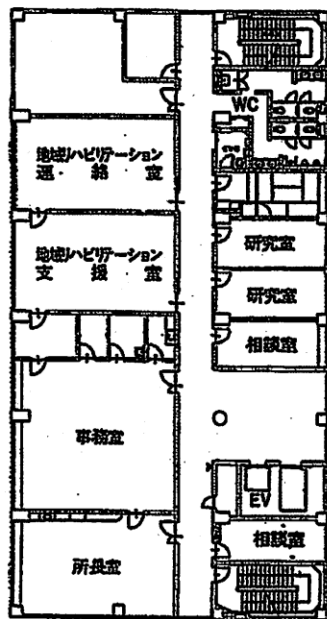
【1階平面図】



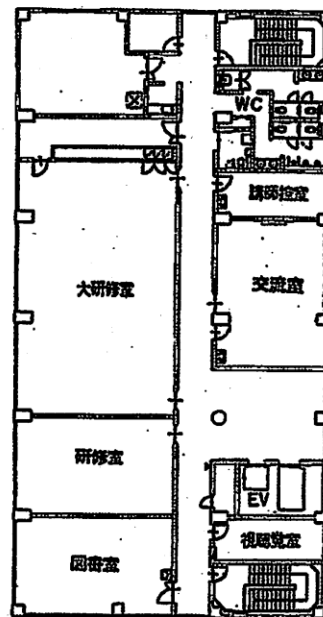
【2階平面図】



【3階平面図】



【4階平面図】



2 バリアフリー体験住宅ほっとあんしんの家

建 物 鉄骨造 2階建

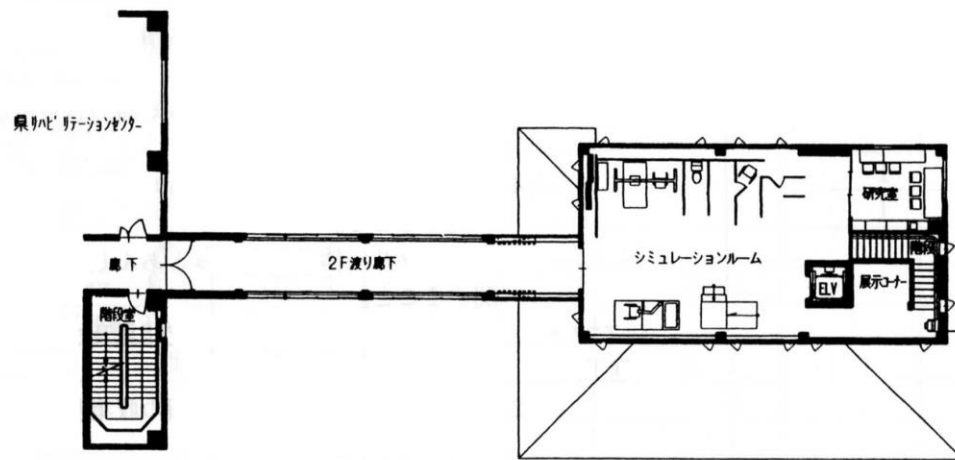
延べ面積 299.44㎡

1階 166.41㎡

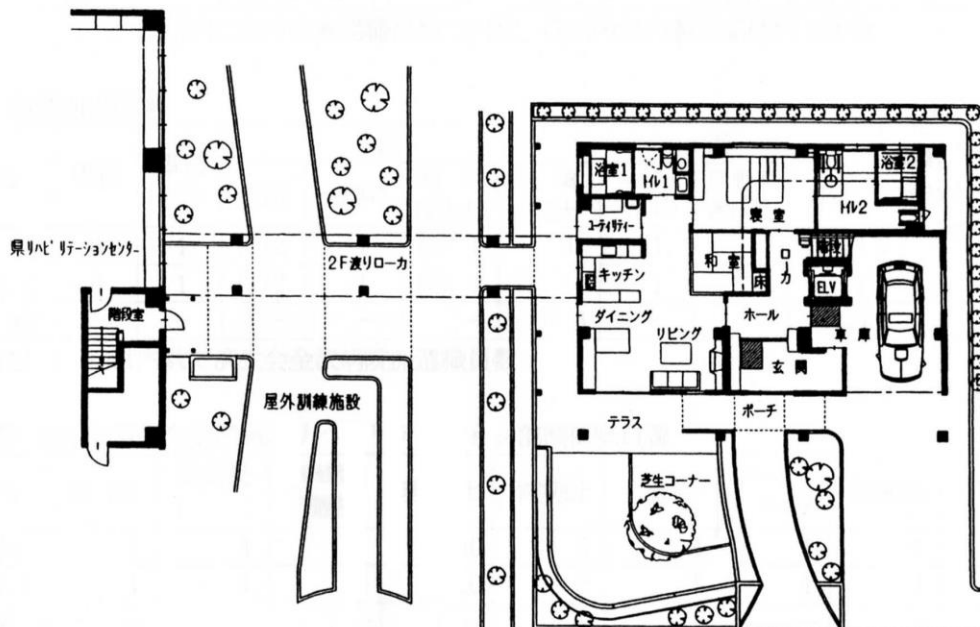
2階 133.03㎡

その他 渡り廊下 47.70㎡

計 347.14㎡



2階平面配置図



1階平面配置図

第2 組織及び分掌事務

次長 所長 —— (事務) (技術)	庶務課 支援課 バリアフリー 推進工房 難病相談・ 支援センター 高次脳機能 障害相談・ 支援センター	1 センター内の事務の連絡調整に関すること 2 石川県済生会金沢病院との連絡調整に関すること 3 他の課の所掌に属しない事項に関すること 1 リハビリテーションに関する教育研修及び調査に関すること 2 リハビリテーションに関する情報の収集及び提供に関すること 3 リハビリテーションに関する知識の普及及び啓発に関すること 4 リハビリテーションに関する地域活動の支援に関すること 5 バリアフリー体験住宅ほっとあんしんの家に関すること 1 自立支援機器等の研究開発及び相談・指導に関すること 2 自立支援機器等に関する情報の収集及び提供に関すること 1 難病・小児慢性特定疾病児童等の相談に関すること 2 患者会家族交流会に関すること 3 難病に関する研修及び情報収集に関すること 1 高次脳機能障害相談に関すること 2 患者会家族交流会に関すること 3 高次脳機能障害に関する研修及び情報収集に関すること
--------------------------	---	--

第3 職員数（平成30年4月1日現在）

1 事業別配置現員調

単位：人

区分	現員	総括	庶務課	支援課	バリアフリー 推進工房	医療提供 (派遣職員)
所長	①	①				
次長・工房長	(1) 3	2			(1)	1
課長	(3)		(1)	(1)	(1)	
担当課長	1			1		
主幹	① 4		2	1	① 1	
企画専門員	4			2	2	
福祉専門員	2			2		
専門研究員	①				①	
主任技師	4			4		
技師	1			1		
嘱託職員	3			3		
臨時職員	3		1	2		
計	(4) ③ 25	① 2	(1) 3	(1) 16	(2) ② 3	1

(注) () は所内における兼務職員数で内数、○は所外の兼務職員数で外数

2 職種別現員調

単位：人

区分	事務	事務 (福祉)	技 術							嘱託・ 臨時	計
			医師	保健師	理学療 法士	作業療 法士	リハビ リ工学技 師	その他	小計		
現員	3	2	(1) 1	4	1	5	1	2	(1) 14	6	(1) 25

(注) () は派遣職員数で内数

第4 平成29年度の事業実績

I 県リハビリテーション支援センターの状況

1 地域リハビリテーション推進事業

(1) 地域リハビリテーション推進検討会議の開催

①目的

リハビリテーションに関する地域活動支援の推進を目的に、石川県リハビリテーションセンターの運営及び地域リハビリテーションに関することを検討する。

②会議の構成

学識経験者、医師会等職能団体、患者・障害者団体、市町等の代表者、

③実施状況

開催期日	主 な 議 題	出席者数
H30. 3. 14	平成29年度県リハビリテーションセンター事業の実施状況 平成30年度県リハビリテーションセンター事業の概要 その他	委員 17 人

(2) 地域リハビリテーション支援事業

高齢者や障害者が住み慣れたところで生き生きとした生活が送れるよう、地域の医療、保健、福祉、教育、就労に関係する機関に対して、リハビリテーション技術の支援及びリハビリテーション担当職員の人材育成のための研修を行う。

① 他機関への個別支援

依 頼 機 関	件数
医療機関	256
障害者総合支援法関連施設（障害者施設等）	238
教育機関（特別支援学校、特別支援学級等）	210
介護保険法関連施設	27
訪問リハビリテーション事業所	137
保健福祉センター	72
障害者の相談支援事業所	257
市町	39
身体障害者更生相談所	3
難病相談・支援センター	52
高次脳機能障害相談・支援センター	84
職業関連施設	1
その他	106
合 計	1482 件

② 福祉施設への事業支援

支 援 内 容	件数
運動、作業、レクリエーション指導	8
環境調整や福祉用具の支援	14
リハビリテーション関係会議への参加	0
研修会講師	11
合 計	33 件

③ 教育機関への事業支援

支 援 内 容	件数
運動、作業、レクリエーション指導	1
環境調整や福祉用具の支援	7
連絡会の参加	1
研修会講師	11
合 計	20 件

④ 市町、保健福祉センター等への事業支援

事 業 名	依 頼 元	回数
県障害者自立支援協議会 相談支援部会	県障害保健福祉課	3
県在宅医療・介護連携推進担当者研修会	県長寿社会課	1
介護予防事業担当者連絡会議	〃	1
介護支援専門員認定審査ポイント研修 講師	〃	2
平成29年度 石川県障害者相談支援従事者研修 講師	県障害保健福祉課	1
能美市地域自立支援協議会 定例支援会議	能美市	3
ノーマネットはくさん会議	白山市	1
小松市推進委員研修会 講師	小松市	1
高次脳機能障害者 地域ケア会議	津幡町地域包括支援センター	1
食生活改善推進協議会 講師	石川中央保健福祉センター	1
後縦靭帯骨化症患者・家族のつどい 講師	〃	1
パーキンソン病患者・家族のつどい 講師	〃	2
後縦靭帯骨化症患者・家族のつどい 講師	南加賀保健福祉センター	1
パーキンソン病患者・家族のつどい 講師	〃	1
後縦靭帯骨化症患者・家族のつどい 講師	能登中部保健福祉センター	1
パーキンソンの方を支援する関係者研修会 講師	〃	1
膠原病関連のつどい 講師	〃	1
平成29年度 市町等身体障害者福祉事務担当者研修会 講師	県身体障害者更生相談所	1
平成29年度 バリアフリー条例に係る審査担当者講習会 講師	県土木部建築住宅課	1
合 計		25 回

⑤ 他機関への講師派遣、その他事業支援

研修会及び講義名	依頼元	回数
臨床看護概論「リハビリテーション」 講師	石川県立看護大学	3
〃	石川県立総合看護専門学校	1
リハビリテーションセンターの概要、福祉用具を用いた自立支援 講師	金城大学 理学療法学科、作業療法学科 1年生	2
福祉機器技術研修 講師	金沢大学 理工学域機械工学類4年生	3
平成29年度 初任者研修「特別支援教育Ⅱ」 講師	石川県教員総合研修センター	3
平成29年度 福祉用具専門相談員指定講習会 講師	社会福祉法人 金沢市社会福祉協議会	1
平成29年度 バリアフリー住宅改修講習会 講師	NPO法人 バリアフリー総合研究所 県土木部建築住宅課	3
平成29年度 課題解決型福祉用具実用化開発支援事業 福祉機器採択・技術委員会 委員	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構	1
平成29年度 戦略的基盤技術高度化支援事業 研究開発委員会 アドバイザー	公益財団法人石川県産業創出支援機構	1
平成29年度 バリアフリー北陸信越ブロック連絡会議 委員	北陸信越運輸局	1
平成29年度 就労支援連絡会議	金沢障害者就業・生活支援センター	1
平成29年度 都道府県リハビリテーション支援センター会議	全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会	1
合 計		21回

(3) リハビリテーション専門職広域派遣支援事業

① 市町事業に関わるリハビリテーション専門職の育成研修

地域包括ケアシステムで市町が実施する総合事業に関与できるリハビリテーション専門職の育成を行う。

(対象：県内の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)

実施年月日	研修内容及び講師	会場	参加者数
H29. 8. 6 (日) 9:30～17:00	<p>テーマ「リハビリテーション専門職活用支援事業」</p> <p>講演「地域ケア個別会議への関わり方」 －作業療法士の視点から－ 講師：医療法人池慶会 池端病院 総務部長 紅野 勉 (作業療法士) －理学療法士の視点から－ 講師：兵庫県但馬県民局但馬長寿の郷 地域ケア課 小森 昌彦 (理学療法士)</p> <p>演習「地域ケア個別会議の実践」 －PT・OT・STの専門性を活かすための 地域ケア個別会議の演習－ 講師：石川県理学療法士会・作業療法士会・ 言語聴覚士会連絡会</p>	県地場産業 振興センター 第7研修室	76人

② リハビリテーション専門職の連携体制づくり

市町が実施する総合事業において、リハビリテーション専門職派遣の必要が生じた際に対応可能な体制をつくる。

(対象：県理学療法士、県作業療法士、県言語聴覚士会の代表)

ア リハビリテーション連絡会議の開催 (計6回)

回次	実施年月日	議 題	会 場
1	H29. 4. 26 (水) 15:00～17:00	今年度の事業について	リハビリテー ションセンター
2	H29. 6. 15 (木) 16:00～18:00	地域包括ケアに対応するリハビリテーション専門職活用支援事業について	〃
3	H29. 8. 31 (木) 16:00～18:00	リハビリテーション専門職活用支援事業の振返りとリハビリテーション専門職連携体制づくりに係る委託事業について	〃
4	H29. 11. 21 (火) 16:00～18:00	リハビリテーション専門職連携体制づくりに係る委託事業について	〃
5	H30. 1. 16 (火) 16:00～18:30	<p>委託事業の打ち合わせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金沢市シンポジウムの開催 (期日：H30. 2. 25、場所：石川県地場産業振興センター) について ・石川県理学療法士会・作業療法士会・言語聴覚士会連絡会活動意見交換会の開催について 	〃

イ 啓発・普及のためのモデル事業①「シンポジウムの開催」

実施年月日	内容及び講師	会 場	参加者数
H30. 2. 25(日) 9:30～12:30	<p>テーマ「地域包括ケアとリハビリテーション ～金沢市におけるリハ専門職の活躍～」</p> <p>「金沢市の現状とリハ専門職へ期待すること」 金沢市保健局 局長 越田 理恵</p> <p>「金沢市における地域包括ケアシステム構築への 取り組み ～在宅医療・介護連携を中心に～」 金沢市保健局 健康政策課 課長補佐 安土 守子</p> <p>「地域包括支援センターの紹介とリハ専門職へ 期待すること」 金沢市地域包括支援センター くらつき センター長 池本 明子</p> <p>「認知症施策、介護予防支援会議、そくさい地域 出前講座等の活動報告」 県理学療法士会 理事 小堺 武士 県作業療法士会 理事 桂 靖典 県言語聴覚士会 理事 谷口 昌代</p>	石川県地場産業振興センター・コンベンションホール	136人

ウ 啓発・普及のためのモデル事業②「石川県PT・OT・ST連絡会活動意見交換会の開催」

実施年月日	内容及び講師	会 場	参加者数
H30. 2. 25(日) 13:30～16:30	<p>テーマ 「石川県PT・OT・ST連絡会の活動を知り、 自市町を考える」</p> <p>3士会の地域活動実態調査報告 県理学療法士会 副会長 北谷 正浩 県作業療法士会 理事 桂 靖典 県言語聴覚士会 副会長 徳田 紀子</p> <p>各地域連絡会の活動報告 「七尾市の取り組み」 県理学療法士会 理事 諏訪 勝志 「加賀市の取り組み」 県作業療法士会 理事 中森 清孝 「能美市の取り組み」 県理学療法士会 理事 笹島亜希子</p> <p>グループワーク 「継続的かつ機能的な各市町連絡会の発展と地域 包括ケアシステムの推進について考える」 司会：PT・OT・ST連絡会 委員 北谷 正浩</p>	石川県地場産業振興センター・コンベンションホール	94人

2 支援指導事業

(1) リハビリテーションに関する啓発普及

①リハビリテーションセンターニュースの発行（毎年5月、3月の2回発行）

県内のリハビリテーション関係者ならびに医療・福祉関係機関等に対して、当センターの活動及び関連情報等を紹介することによりリハビリテーションの普及啓発を図る。

（対象：県、市町、保健福祉関係団体、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が勤務する機関、地域包括支援センター、障害者の相談支援事業所、居宅介護支援事業所、福祉用具サービス事業所、特別支援学校・学級、介護老人福祉施設、障害者福祉サービス事業所、児童発達支援センター、障害児通所支援事業所等を対象に1,800部を発行）

(2) 研修

①リハビリテーション医療専門職研修会

リハビリテーション医療に関する最新情報や先進的な取り組みについて研修会を開催し、リハビリテーション専門職の資質向上を図る。

（対象：県内の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等）

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会場	参加者数
H29.7.1(土) 14:00～17:00	「自動車運転支援におけるリハビリテーション専門職の役割」 講師：千葉県立大学 准教授 藤田 佳男（作業療法士） 石川県警察本部交通部 運転免許課 河村 卓	リハビリテーションセンター	96
H29.9.2(土) 14:00～16:45	「地域包括ケア病棟におけるリハビリテーション専門職の役割とは～地域包括ケア病棟と在宅・地域との連携～」 講師：八千代病院 総合リハビリセンター 技師長 松山 太士（理学療法士）	〃	53
H30.3.3(土) 14:00～17:00	「栄養状態に応じたリハビリテーションの実践方法について」 講師：田村外科病院 リハビリテーション科 科長 高橋 浩平（理学療法士）	〃	117
合計			266人

②教職員リハビリテーション研修

障害のある児童・生徒を担当する教職員に対して、学校生活における自立支援及び社会参加のためのリハビリテーションに関する知識、技術の向上を図る。

（対象：いしかわ特別支援学校との共同企画）

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会場	参加者数
H29.7.28(金) 10:00～15:30	講演会「子どもたちの学校生活とみらいを支える協働～作業療法士の支援の実際～」 講師：名古屋大学大学院 医学系研究科 リハビリテーション療法学専攻 教授 辛島 千恵子（作業療法士） 選択講座「活動を引き出す座位姿勢、小児慢性特定疾病児童等の自立支援事業（福祉用具展示）」 講師：リハビリテーションセンター職員	いしかわ特別支援学校	197人

3 福祉用具研修・普及事業

(1) 研修

① 福祉用具活用研修会

障害者の自立度向上や介護者の負担軽減を目的とした福祉用具等の活用方法に関する実技研修を実施する

(対象：県内の理学療法士、作業療法士等のリハビリテーション専門職)

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会場	参加者数
H29.12.2(土) 10:30～16:40 H29.12.3(日) 9:30～15:30	「福祉用具を活用したトランスファーテクニック ～生活の質の向上と介護負担軽減の視点から～」(講義・実技) 講師：森ノ宮医療大学大学院 保健医療学研究科 教授 上田 喜敏 (理学療法士)	リハビリテーションセンター	25人
H30.3.2(金) 13:30～17:00	「利用者・介護者にやさしいベットまわりの介助 ～福祉用具を活用して～」(講義・実技) 講師：金沢春日ケアセンター 山下 ともみ (作業療法士) リハビリテーションセンター職員	〃	32人

② 職場環境改善研修会

福祉用具の活用による介護従事者の介護負担軽減について職場の責任者等が理解を深めることを目的として具体的な取組み施設の事例を学ぶ。

(対象：県内の介護保険関連施設および障害者総合支援法関連施設の管理者等)

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会場	参加者数
H29.10.13(金) 13:30～16:30	「職場環境改善を目的とした福祉用具の活用 ～ささづ苑での取り組み～」 講師：ささづ苑 施設長 岩井 広行 佐藤 佳子 (作業療法士) 「介護労働安定センターの紹介」 講師：介護労働安定センター石川支部 支部長 津田 泰史	リハビリテーションセンター	37人

③ 補装具に関する研修会

今年度の補装具費支給制度に関する最新情報を提供するための研修会を実施する。

(対象：補装具取扱業者、医療機関職員、福祉施設職員等)

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会場	参加者数
H29.6.24(土) 14:00～16:30	テーマ「平成29年度補装具研修会 ～補装具の支給制度を学ぼう！～」 「平成29年度補装具費支給制度の概要」 講師：身体障害者更生相談所職員 「補装具申請のポイント【下肢装具】」 講師：丸山義肢製作所 代表 丸山 輝雄 (義肢装具士) 金沢脳神経外科病院 土山 裕之 (理学療法士) 「補装具申請のポイント【車椅子】」 講師：身体障害者更生相談所職員 リハビリテーションセンター職員	リハビリテーションセンター	104人

(2) 普及事業

① バリアフリー普及・啓発事業

障害者や高齢者の自立生活や社会参加を促進することの重要性について理解を深め、バリアフリー環境の大切さや自然に支え合うことができる社会の実現を目指す普及・啓発を行う。
(対象：一般県民)

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
H29. 9. 24(日) 10:00～16:00	障害者ふれあいフェスティバル 「スポーツ・芸術活動を支えるリハビリテーション機器」 ・福祉用具・コミュニケーション機器・自助具等の展示 ・絵手紙の実演	産業展示館 4号館	252
H29. 10. 21(土) 10:00～16:30	いしかわ介護フェスタ ・福祉機器・介護ロボットコーナー ・福祉用具の展示と介護のお仕事体験ラリー	産業展示館 1号館	535
計			787人

② 県内の理学療法士、作業療法士養成校の学生のための福祉用具・住環境技術実習

当センターに設置されているバリアフリー体験住宅「ほっとあんしんの家」や専門的な福祉用具を活用し、住宅改修や福祉用具の適合等の専門的な技術支援について実技指導を行う。

(対象：県内の理学療法士、作業療法士養成校の学生等)

実施年月日	内 容	学校名、学科名、学年	参加者数
H29. 6. 26(月) 13:30～16:00	・移乗動作（簡易移乗機器、リフト等）	金沢大学医薬保健学域保健学類 理学療法学専攻3年	21
H29. 7. 3(月) 13:30～16:00	・移動（車椅子）	金沢大学医薬保健学域保健学類 理学療法学専攻3年	21
H29. 7. 10(月) 13:30～16:00	・片麻痺・対麻痺のADL、住環境について	金沢大学医薬保健学域保健学類 理学療法学専攻3年	21
H29. 7. 11(火) 10:30～16:00	・テクニカルエイドについて ・自動車運転・シーティングについて	国際医療福祉専門学校七尾校 作業療法学科2年	10
H29. 7. 31(月) 13:30～16:00	・コミュニケーション機器 ・車椅子・シーティング	金沢大学医薬保健学域保健学類 作業療法学専攻3年	22
H29. 8. 28(月) ～9. 1(金)	・臨床見学実習	金城大学医療健康学部 作業療法学科2年	1
H29. 9. 5(火) 13:00～15:00	・センター事業、推進工房事業説明 ・ほっとあんしんの家の見学実習	富山医療福祉専門学校 理学療法学科1年	30
H29. 9. 14(木) 10:00～15:00	・センター事業、推進工房事業説明 ・ほっとあんしんの家の見学実習	国際医療福祉専門学校七尾校 理学療法学科1年	13
H29. 9. 26(火) 10:30～15:25	・センター、ほっとあんしんの家の見学実習	金沢大学医薬保健学域保健学類 理学・作業療法学専攻2年	41
H30. 2. 5(月) 15:00～16:00	・センター、ほっとあんしんの家の見学実習	関西医科専門学校 理学療法学科1年	15
H30. 2. 13(火) 9:00～16:30	・リハセンター（地域リハ）の説明 ・生活の中での移動機器の活用・チームアプローチ（リハ医） ・ほっとあんしんの家の見学実習	金沢リハビリテーション アカデミー 理学療法学科・作業療法学科 1年	72

実施年月日	内 容	学校名、学科名、学年	参加者数
H30. 2. 14(水) 9:00～17:00	・身体特性と車椅子との関係 ・杖・歩行車・車椅子について (実技) ・福祉車両について (講義+実技)	金沢リハビリテーション アカデミー 理学療法学科・作業療法学科 1年	72
H30. 2. 15(木) 9:00～17:00	・バリアフリー推進工房の紹介 ・難病・高次脳機能障害相談支援 センターの紹介 ・日常生活動作実習	金沢リハビリテーション アカデミー 理学療法学科・作業療法学科 1年	72
H30. 2. 19(月) 9:00～17:00	・移乗について (講義+実技) ・チームアプローチ (リハ専門職) ・住環境に関して	金沢リハビリテーション アカデミー 理学療法学科・作業療法学科 1年	72
H30. 2. 19(月) ～2. 23(金)	・臨床見学実習	金城大学医療健康学部 作業療法学科2年	1
H30. 2. 20(火) 9:00～17:00	・コミュニケーションについて ・医療機関の見学 (済生会金沢病院) ・日常生活動作実習 (発表)	金沢リハビリテーション アカデミー 理学療法学科・作業療法学科 1年	72
H30. 2. 22(木) 9:00～17:00	・日常生活動作実習の考察とまとめ(発表) ・日常生活動作について ・コミュニケーションについて(講義+実技)	金沢リハビリテーション アカデミー 理学療法学科・作業療法学科 1年	72
H30. 2. 26(月) 10:00～16:00	・センター、ほっとあんしんの家の見学実習 ・移動と福祉機器について(講義+実技) ・車椅子について (講義+実技)	金城大学医療健康学部 作業療法学科1年	24
H30. 3. 5(月) 10:00～16:00	・センター、ほっとあんしんの家の見学実習 ・移動と福祉機器について(講義+実技) ・車椅子について (講義+実技)	金城大学医療健康学部 理学療法学科1年	64
H30. 2. 28(水) 10:40～15:30	・センター事業説明 ・自動車運転について (シミュレーション装置、シエント) ・住環境と移乗について (ほっとあんしんの家の見学を含む) ・コミュニケーションと上肢装具について (講義+体験)	名古屋医健スポーツ専門学校 作業療法科2年	9
計			725人

③ テクニカルエイド普及展示会 (※テクニカルエイド:福祉用具や住環境に関するリハビリテーション技術支援)

福祉用具の利用や環境改善によるリハビリテーション技術支援が、障害のある子どもたちの自立度を高めるために役立つことを学ぶ機会として、展示会を開催する。

(対象:特別支援学校や特別支援学級の教職員等)

実施年月日	内容及び講師	会 場	参加者数
H29. 7. 28(金) 10:00～16:30	福祉用具及び福祉車両の展示	いしかわ特別支援学校	217人

④ リハビリテーションセンターでの見学実習及び体験学習

バリアフリー体験住宅「ほっとあんしんの家」や福祉用具を利用した住宅改修や福祉用具の適合等の専門的な支援技術、高齢者や障害者への接し方、車椅子や自助具等の活用法について見学・体験学習を行い、リハビリテーションやバリアフリーを普及する。

ア 医療・保健・福祉・工学関係分野の学生や団体等を対象にした体験学習

	高 校	専門学校	短大・大学	企業・法人	その他	合 計
受入団体数	2	17	18	7	16	60 件
見学者数	44	171	233	88	459	995 人

イ 小・中学生（ジュニアコース）を対象にした体験学習

	小学校	中学校	合計
受入団体数	4	2	6 件
体験者数	325	168	493 人

ウ 高齢者疑似体験用具の貸出

	小学校	中学校	高 校	専門学校	企業・法人	その他	合計
貸出件数	16	7	1	4	10	10	51 件

(3) バリアフリー体験住宅「ほっとあんしんの家」の利用状況

高齢者や障害者が住みやすいバリアフリー住宅の見学・体験を受け入れるとともに、県内の医療福祉関係者、企業等に対して福祉用具や住環境に関する研究、開発、教育の場として提供し、必要な場合は外部の有識者等による技術支援を行う

区 分	内 容	利用人数		利用件数	
		28 年度	29 年度	28 年度	29 年度
研究・開発	県内企業、団体等における福祉用具、住環境、ユニバーサルデザイン製品の研究開発の場として利用	人 68	人 156	件 22	件 46
テクニカルエイド相談 福祉用具や住環境を用いた障害者への自立支援	障害者や高齢者の自立生活を促進するための福祉用具の試用・適合、住宅プランを検討する場として利用	601	388	149	114
研修教育	先端的なバリアフリー体験住宅により、医療・福祉専門職や学生等の教育研修の場として利用	2,130	2,087	88	90
一般見学	生涯住宅としてのバリアフリー住宅の提案の場として利用	339	666	61	83
合 計		3,138	3,297	320	333

<参考> ほっとあんしんの家の利用状況

		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利 用 総 数	平成25年度	件数	18	33	35	32	29	21	3	0	0	0	33	32	236
		人数	117	406	385	336	213	150	13	0	0	0	762	194	2,576
	平成26年度	件数	31	37	47	41	37	25	28	33	15	15	20	16	345
		人数	154	248	516	325	257	294	282	407	125	98	517	99	3,322
	平成27年度	件数	19	22	31	29	25	28	33	33	20	22	28	28	318
		人数	56	191	336	331	274	379	399	404	184	146	706	214	3,620
平成28年度	件数	18	20	32	26	29	28	25	29	23	18	37	35	320	
	人数	130	148	174	289	163	264	350	327	112	132	827	222	3,138	
平成29年度	件数	25	29	24	39	37	27	35	24	23	19	21	30	333	
	人数	173	225	471	359	199	269	444	96	237	120	406	298	3,297	
一 般	平成25年度	件数	3	8	19	12	8	5	0	0	0	0	15	14	84
		人数	10	81	115	95	15	10	0	0	0	0	46	57	429
	内県政バス	件数	-	1	1	1	0	0	0	0	-	-	-	-	3
		人数	-	52	38	32	0	0	0	0	-	-	-	-	122
	平成26年度	件数	14	9	18	10	7	6	9	10	2	2	3	5	95
		人数	48	58	187	127	41	33	68	62	8	8	4	9	653
	内県政バス	件数	-	1	3	3	0	0	1	0	-	-	-	-	8
		人数	-	43	105	114	0	0	37	0	-	-	-	-	299
	平成27年度	件数	6	5	4	11	6	8	8	2	1	3	2	10	66
		人数	10	117	27	67	44	128	57	37	5	5	6	28	531
	内県政バス	件数	-	3	0	1	1	2	1	0	-	-	-	-	8
		人数	-	113	0	37	37	92	30	0	-	-	-	-	309
	平成28年度	件数	3	2	7	7	2	9	3	9	5	1	3	10	61
		人数	13	3	37	78	2	37	38	53	8	2	6	62	339
	内県政バス	件数	-	0	0	1	0	0	1	0	-	-	-	-	2
		人数	-	0	0	41	0	0	32	0	-	-	-	-	73
	平成29年度	件数	9	7	3	7	13	7	7	10	1	5	5	9	83
		人数	53	80	110	62	84	49	95	26	13	9	25	60	666
内県政バス	件数	-	2	3	1	0	1	2	0	-	-	-	-	9	
	人数	-	71	110	49	0	37	81	0	-	-	-	-	348	
研 修 教 育	平成25年度	件数	1	5	7	8	8	3	0	0	0	0	11	5	48
		人数	39	218	212	162	126	86	0	0	0	0	696	78	1,617
	平成26年度	件数	3	5	13	9	14	7	5	9	2	3	9	3	82
		人数	28	97	267	127	147	218	154	297	77	54	468	53	1,987
	平成27年度	件数	2	2	12	6	6	5	9	14	5	6	12	5	84
		人数	11	22	275	212	179	193	264	310	115	86	630	135	2,432
	平成28年度	件数	3	5	6	11	13	7	8	8	2	5	15	5	88
		人数	56	88	68	171	94	190	262	222	54	96	755	74	2,130
	平成29年度	件数	2	3	9	17	8	5	10	4	8	5	8	11	90
		人数	57	82	314	226	53	175	281	47	186	95	356	215	2,087
相 談	平成25年度	件数	8	9	7	6	8	8	3	0	0	0	6	8	63
		人数	44	58	54	44	57	42	13	0	0	0	18	34	364
	平成26年度	件数	11	15	13	19	13	8	12	14	10	8	8	8	139
		人数	72	65	57	66	60	26	52	48	34	32	45	37	594
	平成27年度	件数	10	13	11	11	10	9	13	10	10	10	12	10	129
		人数	31	47	28	44	45	33	58	32	46	47	63	43	517
平成28年度	件数	10	13	15	7	12	12	12	12	13	11	16	16	149	
	人数	53	57	62	36	65	37	47	52	46	32	57	57	601	
平成29年度	件数	10	12	7	11	12	10	11	6	9	9	7	10	114	
	人数	49	40	17	59	46	29	41	14	31	16	23	23	388	
研 究 開 発	平成25年度	件数	6	11	2	6	5	5	0	0	0	0	1	5	41
		人数	24	49	4	35	15	12	0	0	0	0	2	25	166
	平成26年度	件数	3	8	3	3	3	4	2	0	1	2	0	0	29
		人数	6	28	5	5	9	17	8	0	6	4	0	0	88
	平成27年度	件数	1	2	4	1	3	6	3	7	4	3	2	3	39
		人数	4	5	6	8	6	25	20	25	18	8	7	8	140
	平成28年度	件数	2	0	4	1	2	0	2	0	3	1	3	4	22
		人数	8	0	7	4	2	0	3	0	4	2	9	29	68
	平成29年度	件数	4	7	5	4	4	5	7	4	5	0	1	0	46
		人数	14	23	30	12	16	16	27	9	7	0	2	0	156

※平成25年度は、改修工事のため平成25年10月11日（金）～平成26年1月31日（金）まで臨時休館

4 リハビリテーション技術支援ネットワーク強化事業

障害者総合支援法や県の地域医療再生計画により、高齢者や障害者の自立支援が重要視される中、平成24年度に実施したリハビリテーション機能強化検討会及びアンケート等の結果を踏まえ、平成25～28年度に身近な地域で福祉用具や住宅改修等によるリハビリテーション技術支援体制の充実を図るモデル事業を実施した。

さらに、平成29年度からは県内各地域で在宅生活を営む高齢者や障害のある方の自立生活や社会参加を一層促進するために、地域での相談支援体制づくりとリハビリテーション技術支援を提供する人材育成を図った。

(1) 地域における障害（児）者への自立支援機器の普及促進事業

在宅で生活する高齢者や障害のある方の自立生活や社会参加を図るには、在宅での実践的リハビリテーション技術支援が重要となり、各地域でこれらの活動を推進するには、医療・福祉・介護の連携が必要となるため、各地域における支援者同士のネットワークづくり及び適切なリハビリテーション技術支援が提供できる相談支援体制の充実を目指す。

① 特別講演及び報告会

本事業の普及啓発を行うため、先進的に障害者相談支援体制づくりに取り組む機関による特別講演会及び昨年度にモデル事業を実施した県内4地域による事業報告会を開催した。

実施年月日	講演会・報告会の内容及び講師等	会場	参加者数
H29. 8. 5(土) 13:30～17:00	<p>【特別講演】 テーマ「在宅生活のニーズをとらえた多職種連携支援の必要性 ～リハビリテーション専門職への期待～」 講師：独立行政法人国立病院機構 医王病院 院長 駒井 清暢</p> <p>【報告会】 テーマ「平成 28 年度リハビリテーション技術支援ネットワーク 構築事業報告会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「金沢市の取組み(金沢市障害者基幹相談支援センター紹介)」 報告者：金沢市障害者基幹相談支援センター 山川 孝子 ・「内灘町の取組み」 報告者：内灘町町民福祉部福祉課 課長補佐 秋田 博之 	石川県地場 産業振興 センター	80 人

② 在宅リハビリテーション検討会

能登北部、能登中部、南加賀、石川中央東（かほく市、津幡町、内灘町、金沢市）、石川中央西（白山市、野々市市、金沢市）の5会場で、リハ専門職、介護支援専門員、相談支援専門員、市町担当者を対象に、在宅リハビリテーションを実施する事業所紹介、事例検討及び自立支援機器の勉強会を行い、支援者同士の身近な関係づくりと知識・支援技術の向上を図るための検討会を開催した。

実施年月日	講演会・報告会の内容及び講師等	会 場	参加者数
H30. 1. 30 (火) 13:30～18:30	<p>【石川中央東（かほく市、津幡町、内灘町、金沢市）地区】</p> <p>ア) 在宅リハビリテーション活動紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河北中央病院訪問リハビリテーションつばさ 東 実紀（理学療法士） ・あさのがわ訪問リハビリ・訪問看護ステーション 宮森 俊充（理学療法士） ・済生会金沢訪問看護ステーション 古矢 泰子（理学療法士） ・訪問看護ステーションつくし 大森 俊之（理学療法士） ・金沢西病院訪問看護ステーション 白山 武志（作業療法士） <p>イ) リハビリテーションセンターの活動紹介 リハセンター職員</p> <p>ウ) 事例検討</p> <p>エ) 福祉用具の活用説明・体験会</p>	リハビリテーションセンター	39
H30. 1. 31 (水) 13:30～18:30	<p>【石川中央西（白山市、野々市市、金沢市）地区】</p> <p>ア) 在宅リハビリテーション活動紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南ヶ丘訪問看護ステーション 柴 真名美（理学療法士） ・金沢赤十字値訪問看護ステーション 寺田 茂（理学療法士） ・公立つるぎ病院訪問リハビリテーション 有川康二郎（理学療法士） ・KKR北陸訪問看護ステーション 谷口 昌代（言語聴覚士） 元田 直美（理学療法士） ・悠輝会訪問看護ステーションかがやき 千葉 大地（理学療法士） <p>イ) リハビリテーションセンターの活動紹介 リハセンター職員</p> <p>ウ) 事例検討</p> <p>エ) 福祉用具の活用説明・体験会</p>	〃	44

実施年月日	講演会・報告会の内容及び講師等	会 場	参加者数
H30.2.2 (金) 13:30～18:30	<p>【能登北部（輪島市、珠洲市、穴水町、能登町）地区】</p> <p>ア) 在宅リハビリテーション活動紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立穴水総合病院 大畑敬一郎（作業療法士） ・市立輪島病院 山崎 裕之（理学療法士） ・公立宇出津総合病院 洲崎 久美（理学療法士） ・珠洲市総合病院 新出さやか（作業療法士） <p>イ) リハビリテーションセンターの活動紹介 リハセンター職員</p> <p>ウ) 事例検討</p> <p>エ) 福祉用具の活用説明・体験会</p>		21
H30.2.8 (木) 13:30～18:30	<p>【能登中部（七尾市、羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町）地区】</p> <p>ア) 在宅リハビリテーション活動紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恵寿訪問リハビリテーションけいじゅ 五十嵐満哉（作業療法士） ・志賀町立富来病院 加藤 孝之（作業療法士） ・町立宝達志水病院 原 文香（理学療法士） ・公立羽咋病院 北谷 正浩（理学療法士） <p>イ) リハビリテーションセンターの活動紹介 リハセンター職員</p> <p>ウ) 事例検討</p> <p>エ) 福祉用具の活用説明・体験会</p>	ワークパル 七尾	22
H30.3.20 (火) 13:30～18:30	<p>【南加賀（小松市、加賀市、能美市、川北町）地区】</p> <p>ア) 在宅リハビリテーション活動紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーションリハケア芦城 後藤 伸介（理学療法士） ・ほうじゅ訪問看護・リハステーション緑が丘 中川 充（理学療法士） ・訪問看護ステーションややのいえ 松村 朋枝（理学療法士） ・加賀のぞみ園訪問看護ステーション加賀 中森 清孝（理学療法士） ・加賀温泉ケアセンター 山田 秀和（理学療法士） <p>イ) リハビリテーションセンターの活動紹介 リハセンター職員</p> <p>ウ) 事例検討</p> <p>エ) 福祉用具の活用説明・体験会</p>	小松市民 センター	41

(2) 自立支援機器活用研修事業

① 自立支援機器・住環境適合研修（スペシャリスト育成研修）

リハビリテーション専門職及び福祉用具専門相談員を対象に、車椅子等の補装具に関する適合、選定、調整の実践的演習を実施し、地域で補装具等を活用したリハビリテーション技術支援ができる人材育成を図る。

ア リハビリテーション専門職研修

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会場	参加者数
第1回 H29. 10. 7(土) 13:30～17:00	講義・演習「車椅子適合・採型の進め方について」 助言者：塚谷 洋、平野 友明、加藤 芳子（当事者） 講師：リハビリテーションセンター職員	リハビリテーションセンター	16
第2回 H29. 11. 19(日) 10:00～16:00	講義「車椅子適合のポイント」 講師：リハビリテーションセンター職員 演習「ニーズに応じた車椅子の適合技術①」 助言者：塚谷 洋、平野 友明、加藤 芳子（当事者）	〃	14
第3回 H29. 12. 16(土) 13:30～17:00	演習「ニーズに応じた車椅子の適合技術②」 助言者：塚谷 洋、平野 友明、加藤 芳子（当事者） 講師：リハビリテーションセンター職員	〃	18
合 計			48人

イ 福祉用具専門相談員研修

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会場	参加者数
第1回 H29. 11. 28(火) 13:30～17:00	演習「自走用車椅子の見立て方 ～特徴や適応を考える～」 講師：リハビリテーションセンター職員	リハビリテーションセンター	16
第2回 H29. 12. 12(火) 13:30～17:00	演習「自走用車椅子の障害像に合わせた調整演習」 講師：株式会社ミキ 川上 健一 株式会社松永製作所 國枝 浩平 日進医療器株式会社 阪本 大地 リハビリテーションセンター職員	〃	16
第3回 H30. 3. 16(金) 13:30～17:00	演習「リクライニング・ティルト式車椅子の特徴・適応・調整」 講師：株式会社ミキ 川上 健一 株式会社松永製作所 國枝 浩平 日進医療器株式会社 鈴木 康太 ヤマシタコーポレーション 松原仙宝 リハビリテーションセンター職員	〃	10
合 計			42人

② 自立支援機器情報交換連絡会

障害者や高齢者の自立した在宅生活や積極的な社会参加を目的に、福祉用具メーカーの協力を得て、県内の福祉用具取扱事業者、リハビリテーション専門職、当事者等を対象に自立支援機器の情報交換の場を設けることにより機器の普及促進を図る。

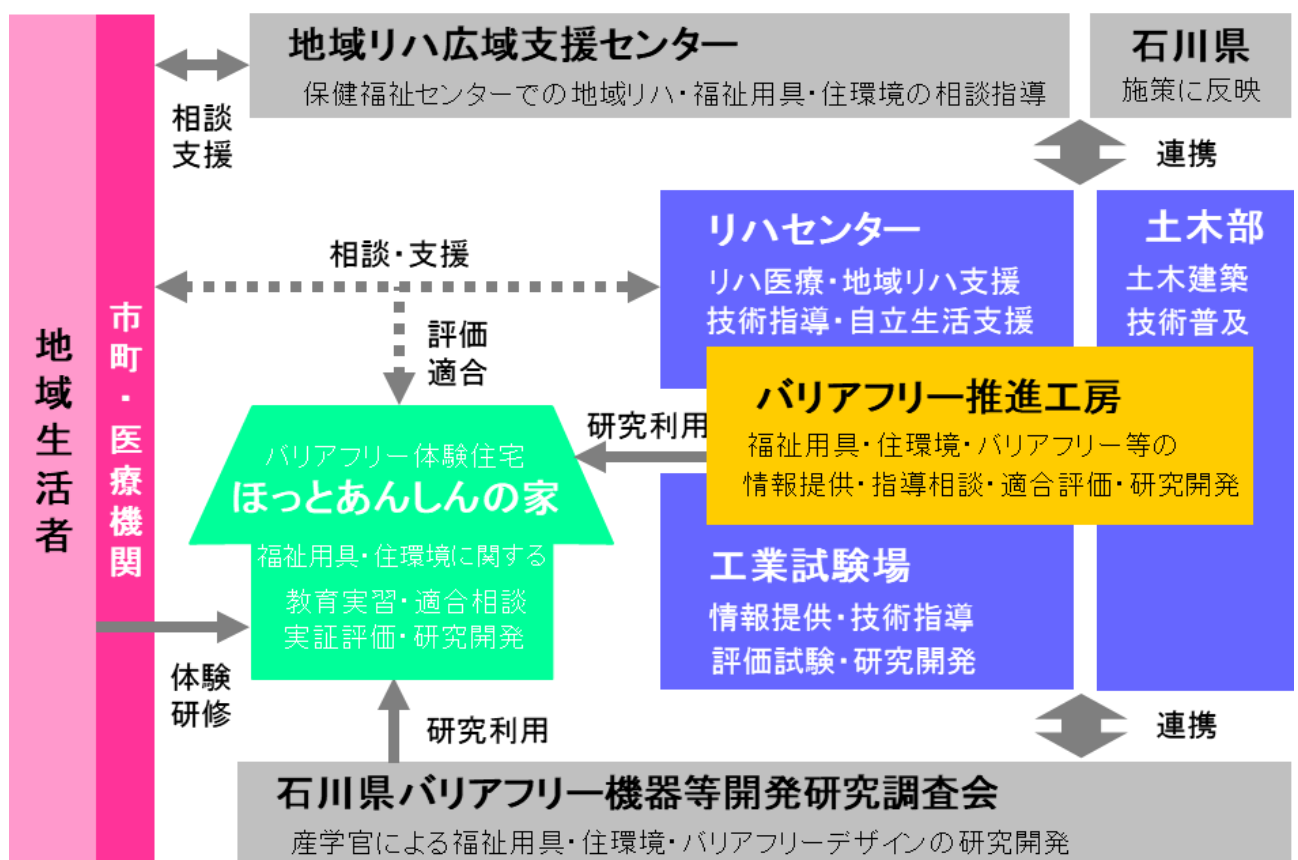
実施年月日	形式	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
H29. 7. 7(金) 16:00～18:00	臨時	コンパクト電動車椅子	リハビリ テーション センター	13
H29. 7. 21(金) 13:30～18:30	定期	自動車改造部品 ～補助具・リフト～	〃	26
H29. 8. 9(水) 16:00～18:00	臨時	座位姿勢に配慮した最新車椅子	〃	12
H29. 10. 5(木) 16:00～18:00	定期	コミュニケーション機器 ～視線入力等の各種入力装置～	〃	30
H29. 12. 7(木) 16:00～18:00	定期	車椅子部品 ～クッション・パッド、サポートベルト等～	〃	33
合 計				114人

II バリアフリー推進工房の状況

健康福祉社会の構築と新産業の創出に向けて、リハビリテーションセンター、工業試験場、土木部建築住宅課および健康福祉部厚生政策課の連携により、障害者の自立生活支援、福祉用具の開発、製品・住環境のユニバーサルデザイン研究等を行っている。

事業と組織の概要

- ・ 障害者個々へのリハビリテーション工学支援技術（福祉用具・住宅改修等による自立生活支援技術）の提供
- ・ 障害者のニーズ把握と身体特性データの蓄積
- ・ リハビリテーション工学支援技術の体系化
- ・ 産学官連携による福祉用具、住環境、ユニバーサルデザイン製品の研究開発
- ・ 県内企業・大学・医療福祉関係機関等への情報提供と技術普及



1 福祉用具・住環境に関する相談・支援事業

(1) 相談・支援件数

- ① 医療・福祉機関等が既存技術で解決できない福祉用具や住環境等の相談・指導
実績：941件
- ② 企業に対する福祉用具、ユニバーサルデザインの相談・指導
実績：328件
- ③ 行政に対する福祉用具、ユニバーサルデザインに対する相談・指導
実績：270件

依頼元別内訳

単位：件

依頼元	TA相談	情報提供	設計開発 相談	試作製品 評価	合計
医療福祉機関等	779	131	1	0	911
教育機関等	74	23	4	0	101
企業等	4	158	138	32	332
行政・公共団体等	84	97	14	0	195
合計	941	409	157	32	1,539

※TA相談：福祉用具活用・住宅改修等によるリハ技術支援に関する相談

用具分類別内訳

単位：件

分類	TA 相談	情報 提供	設計開 発相談	試作製 品評価	合計
治療訓練用具	0	2	0	0	2
義肢・装具	29	18	1	0	48
パーソナルケア関連用具（トイレ・入浴・他）	38	16	6	0	60
移動機器（車椅子クッション・他）	14	4	0	0	18
移動機器（リフト）	35	6	16	0	57
移動機器（移乗・体位変換用具）	11	7	26	1	45
移動機器（視覚障害者用機器）	0	0	0	0	0
移動機器（自動車）	2	22	0	0	24
移動機器（車椅子）	191	61	3	6	261
移動機器（電動車椅子）	240	63	56	10	369
移動機器（杖・歩行器）	14	0	6	5	25
家事用具・操作用具（自助具・他）	20	4	14	5	43
家具・建具、建築設備（スロープ・昇降装置・住宅部品・他）	3	1	4	1	9
家具・建具、建築設備（ベッド・机）	6	2	0	0	8
家具・建具、建築設備（椅子・座位保持装置）	122	19	1	2	144
コミュニケーション関連用具（入力装置）	49	31	3	1	84
コミュニケーション関連用具（固定調整具・他）	4	1	0	0	5
コミュニケーション関連用具（呼びベル・緊急通報・環境制御装置）	8	8	0	1	17
コミュニケーション関連用具（視・聴覚障害者用機器）	0	2	2	0	4

分類	TA 相談	情報 提供	設計開 発相談	試作製 品評価	合計
コミュニケーション関連用具（対話用機器）	81	30	0	0	111
環境改善機器・作業用具	0	2	0	0	2
レクリエーション用具	0	41	1	0	42
都市計画	0	0	0	0	0
公共建築・施設	0	15	15	0	30
住環境	72	7	0	0	79
福祉用具全般	0	31	3	0	34
技術要素	0	8	0	0	8
その他	2	8	0	0	10
合計	941	409	157	32	1539 件

(2) 自助具製作ボランティア活動

障害のある人のうち特に進行性疾患（難病）の人に自助具が必要となる場合、既製品での対応が難しいことが多く、さらに、適時適切な用具の提供が必要になるため、身近な地域での自助具製作や適合支援が求められる。

このため、ものづくりの職能を活かした地域人材（メーカーOB等）7名に加えて工学系大学の学生3名の自助具製作ボランティアを募り、育成及び登録を行い、今年度は、電卓キーガード、屋内小段差スロープ、電動玩具スイッチの回路・コネクタなど4課題について11回延べ18人が活動を行った。

2 研究開発事業

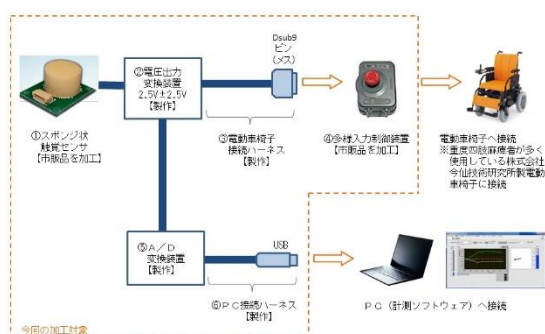
リハビリテーション工学支援技術の提供で蓄積されたデータをもとに、高齢者・障害者の生活ニーズ、身体特性、支援技術などを体系的に整理し、福祉用具、住環境、ユニバーサルデザイン製品に関する自主的研究、企業や行政との共同研究開発などを行っている。

(1) 自主的研究開発

- ・重度障害者に対する電動車椅子操作装置の研究

手指等を僅かしか動かすことができない重度四肢麻痺者が電動車椅子の操作を行うには、その微弱な動作に対応した操作インターフェースが必要となる。そこで、微弱（30gf未満）の操作力に適応する操作インターフェースの実現をめざし、微小力で変形し、三次元方向の変位検出が可能なスポンジ状触覚センサを応用した操作装置の試作を行い、電動車椅子の適応性を検討した。

【委託加工：スポンジ状触覚センサを応用した微小力操作インターフェースの試作】



装置構成図



装置の外観

(2) 他機関との共同研究開発

企業・団体・行政等が単独で解決することができない福祉用具開発やユニバーサルデザインの課題に対して、バリアフリー推進工房が蓄積する技術情報や製品評価・開発技術等のノウハウを提供し、課題解決を図る。

ア 行政との連携による研究開発（公共施設のユニバーサルデザイン研究）

- ・ 県立中央病院、県有施設等のユニバーサルデザイン支援：県土木部

イ 企業との共同研究開発〔研究開発型企业重点指導〕

- ・ 姿勢変換可能なコンパクト軽量電動車椅子の開発支援：(株)今仙技術研究所

重度の障害がある電動車椅子ユーザが日常生活を車椅子上で過ごすには、自身で姿勢変換を行える電動姿勢変換機能が必要となるが、その機能を有する市販品は標準形の電動車椅子しかなく、狭い在宅環境で活用するには、旋回性に優れた小型で軽量の電動姿勢変換機能付き電動車椅子の製品化が求められている。

そこで、平成 23 年度から当センターの自主研究課題として、姿勢変換及び室内移動が円滑な軽量でコンパクトな電動リクライニング・ティルト式電動車椅子の開発に取り組んできた。ここから得られた開発条件をもとに実用化研究を今仙技術研究所が担い、その指導を行った。

姿勢変換（ティルト後傾）にともなって座席部が前方にスライドする機構を持つ軽量コンパクトな後輪駆動方式の電動車椅子の開発を進めるとともに、さらなる旋回性と走行安定性を追究のため中輪駆動方式の電動車椅子の試作を行い、比較検討を行った。

なお、本研究開発は公益財団法人テクノエイド協会が実施する「平成 29 年度障害者総合支援事業費補助金（障害者自立支援機器等開発促進事業）」により実施している。

- ・ 認知・歩行能力が低下した高齢者の歩行車開発支援：(株)メディペック

現在、病院や施設等で利用されている市販の歩行車には、大きく分けて制動装置付きのものそうでないものがあり、利用者の身体特性によって使い分けられているが、利用者の転倒事故や介護職員の見守り負担につながるケースが少なくない。

このため、当社との共同開発者の特許技術である「利用者の歩行能力や手指機能、認知面等に応じて意識せず適度に制動がかかり、転倒リスクや介護負担を軽減する特殊制動装置を応用した歩行車の製品開発を支援した。

身体機能や認知面等の低下により自らの意思でブレーキ操作が困難な利用対象者を想定し、対象者に適した制動装置の機構検討、歩行能力及び身体寸法に適した歩行車の寸法・形状検討を行い、試作機を作製した。この試作機により、施設利用者等によりモニター検証を行い、製品化に向けての課題を検討した。

なお、本研究開発は公益財団法人石川県産業創出支援機構が実施する「平成 28 年度いしかわ産業化資源活用推進ファンド事業助成金」により実施している。

3 技術普及・啓発

(1) 他部局との連携

- ・ 身体障害者更生相談所との技術連携・支援（健康福祉部）
- ・ バリアフリー社会推進賞の募集・審査（健康福祉部）
- ・ 学校における福祉用具及びバリアフリー環境等に関する情報提供（教育委員会）

(2) 他機関委員会等への参画

- ・ バリアフリー北陸信越ブロック地域連絡会（北陸信越運輸局）
- ・ 障害者雇用管理サポート事業（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構）
- ・ 福祉機器採択審査・技術委員会
（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）
- ・ 戦略的基盤技術高度化支援事業（公益社団法人石川県産業創出支援機構）

(3) 展示会への出展

最新の福祉用具及びバリアフリー推進工房の活動を紹介（健康福祉部）

- ・ 障害者ふれあいフェスティバル
- ・ 介護フェスタいしかわ

4 福祉用具の貸出 1082件

関係機関からの依頼により、試用・評価用の福祉用具を貸出している。

分類	用具	件数	小計
義肢・装具	BFO・スプリングバランス・スプリント・他	51	51
パーソナルケア	トイレ・入浴・更衣・整容	38	38
移動・移乗用具	杖・歩行器	5	392
	車いす	32	
	電動車いす	56	
	クッション	148	
	車いす部品	133	
	リフト・吊り具	3	
	移乗用具・他	15	
食事・炊事・操作用具	食事・炊事用具	192	192
家具・建具・建築設備	座位保持装置・いす	60	83
	家具類（机等）	9	
	スロープ・手すり・他	14	
コミュニケーション	スイッチ・入力装置	120	285
	意思伝達装置・会話補助装置	64	
	呼び出しベル・環境制御装置	22	
	固定・調整用具	79	
その他	スポーツ・レクレーション用具・他	41	41
合計			1082件

Ⅲ 難病相談・支援センターの状況

1 難病相談

病気や療養上の悩み等に関する相談に応じ、難病患者、家族の不安の軽減を図る。

電 話	面 接	うち			メール F A X はがき	その他 (ケース 会議等)	家 庭 訪 問	合 計
		うち 専門医	うち リハビリ 専門職	うち難病 患者就職 サポーター				
736	147	16	23	4	147	236	51	1317 人

2 患者交流会

難病患者・家族の交流を図る。

①疾患を限定しない交流会

回 数	参加人数 (うち難病患者)
33 回	203 (136) 人

②疾患別交流会

実施年月日	対 象 者	場 所	参加人数
H29. 7. 28 (金) 13:30～15:30	重症筋無力症	リハビリテーションセンター	人 6
H29. 8. 25 (金) 16:00～17:00	神経線維腫症、天疱瘡	〃	10
H29. 9. 19 (火) 16:00～17:00	特発性間質性肺炎 肺動脈性肺高血圧症	〃	14
H29. 10. 5 (木) 13:30～15:30	再生不良性貧血	〃	4

3 研修会

難病患者、家族が疾患や療養生活に役立つ知識を得、病気と上手につき合っていく方法を身につける。

(1) 難病研修会 (対象：難病患者、家族)

難病患者、家族が疾患や療養生活に役立つ難病に関する知識を得、病気と上手につき合っていく方法を身につける。

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加 者数
H29. 8. 8(火) 14:30～15:00	(難病交流会) 「音楽会～癒しのハンドベル～」 講師：北陸学院中学校ハンドベルクラブ	リハビリ テーション センター	37

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
H29. 8. 25(金) 14:00～16:00	(医療講演会・相談会) 皮膚・結合組織系疾患に関する医療講演会 「神経線維腫症・天疱瘡・表皮水疱症・膿疱性乾癬 (汎発性)・スティーヴン・ジョンソン症候群について」 講師：金沢大学附属病院皮膚科 講師 松下 貴史	〃	12
H29. 9. 9(土) H29. 10. 14(土) H29. 11. 11(土) 10:00～12:00	(セルフマネジメント研修：SCD友の会と共催) 「音楽教室」 講師：齊藤 昌子	リハビリ テーション センター	21
H29. 9. 10(日) 10:00～12:00	(小児慢性特定疾病児童等自立支援事業) 「家族(自分)のメンタルヘルス」 講師：医王ヶ丘病院 朴 裕美 (音楽心理療法士)	小松市第1 地区コミュ ニティー センター	7
H29. 9. 19(火) 14:00～16:00	(医療講演会・相談会) 呼吸器系疾患に関する医療講演会 「特発性間質性肺炎・肺動脈性肺高血圧症・慢性血栓塞栓 性肺高血圧症・リンパ脈管筋腫症・肺泡低換気症候群につ いて」 講師：石川県立中央病院呼吸器内科 診療部長 西 耕一	リハビリ テーション センター	32
H29. 9. 20(水) 13:30～16:00	(ピアサポーター養成研修①) 「『物語』の視点から学ぶ難病ピア・サポート」 講師：富山大学人文学 准教授 伊藤 智樹	〃	23
H29. 9. 30(土) 14:00～16:00	(医療講演会・相談会) バージャー病に関する医療講演会 講師：金沢医科大学病院末梢血管外科 科長 四方 裕夫	〃	1
H29. 10. 3(火) 13:30～15:30	(就労相談会) 「難病のある方の就労について～利用できる制度に ついて知ろう～」 講師：金沢公共職業安定所 難病患者就職サポーター 国田 直樹	〃	5
H29. 10. 4(水) 13:30～15:30	(小児慢性特定疾病児童等自立支援事業) 「小児がん治療の晩期合併症 ～長期フォローアップの必要性～」 講師：金沢医科大学病院 小児科 教授 犀川 太	〃	14
H29. 10. 12(木) 13:30～16:00	(ピアサポーター養成研修②) 「ピア・サポートに役立つ会話のヒント 傾聴の基本と配慮～思いを聞き出す話し方」 講師：心理相談員 吉本 真悟	〃	22

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
H29. 10. 19(木) 13:30～16:00	(ピアサポーター養成研修③) 「ピア・サポートにとって大事なこと ～相手も自分も守る方法～」 講師：心理相談員 吉本 真悟	リハビリテーションセンター	19
H29. 10. 30(月) 14:30～16:30	(小児慢性特定疾病児童等自立支援事業) 「小児・思春期1型糖尿病について」 講師：金沢大学附属病院 小児科 助教 岡島 道子	能登中部保健福祉センター	15
H29. 11. 2(木) 13:30～15:30	(ピアサポーター養成研修④) 「ピア・サポーターが知っているとい知識 ～難病 センターの役割とお悩み別対応方法～」 講師：リハビリテーションセンター (難病相談・支援センター) 職員	リハビリテーションセンター	18
H29. 11. 7(火) 13:30～15:30	(小児慢性特定疾病児童等自立支援事業) 「小児慢性腎疾患(学校検尿、三歳児検尿を中心に)」 講師：金沢医療センター小児科 部長 太田 和秀	〃	12
H29. 11. 9(木) H29. 11. 21(火) 13:30～15:30	(セルフマネジメント研修) *ピアサポーター養成研修⑤も兼ねる 「いつでも、どこでも、だれでも出来る簡単ヨガ」 講師：ヨガサークル Pancha 松山 幸治	〃	36
H29. 11. 12(日) 10:00～12:00	(小児慢性特定疾病児童等自立支援事業) 「姿勢による影響について考えよう ～生活や関わりの中での工夫～」 講師：リハビリテーションセンター職員	小松市サン・アビリティーズ	13
H29. 11. 14(火) 13:30～15:00	(難病交流会) 「薬剤師さんが教える薬と医師との付き合い方」 講師：明祥株式会社 医薬情報部 おくすり相談室 柏原 宏暢	リハビリテーションセンター	9
H29. 11. 15(水) 13:30～16:00	(ピアサポーター養成研修⑥) 「難病のピア・サポートシュミレーション ～実際の場面やケースを想像する～」 講師：富山大学人文学 准教授 伊藤 智樹	〃	20
合 計			316 人

(2) 難病研修会 (対象：難病患者の支援関係者)

介護支援専門員等の難病支援関係者が難病の知識を得て適切な支援が行えるようにする。

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
H29. 7. 12(水) 13:00～14:30	(難病患者生活支援啓発普及事業) 「難病患者体験談」 講師：筋ジストロフィー患者 深田 博貴	石川県立看護大学	80
H29. 10. 19(木) 10:00～11:30	(難病患者生活支援啓発普及事業) 「難病患者体験談」 講師：全国パーキンソン病友の会石川県支部 西 正、伊東 正夫	専門学校 アリス学園	37
H30. 1. 19(金) 13:00～14:00	(難病患者生活支援啓発普及事業) 「難病患者体験談」 講師：もやもや病の患者と家族の会北陸ブロック 北村 仁美、北村 秀夫	金沢大学 鶴間キャンパス	66
H30. 1. 19(金) 13:00～17:15	(難病ホームヘルパー養成研修) 「石川県の難病対策」 講師：県健康推進課職員 「難病相談・支援センターについて」 講師：難病相談・支援センター職員 「神経難病の理解」 講師：独立行政法人国立病院機構医王病院 医師 朝川 美和子 「在宅難病患者への看護」 講師：独立行政法人国立病院機構医王病院 認定難病看護師 吉田 早苗 「難病患者さんと家族への精神的支援」 講師：独立行政法人国立病院機構医王病院 ソーシャルワーカー 吉田 力	リハビリ テーション センター	40
H30. 1. 26(金) 14:00～16:30	平成29年度能登中部保健福祉センター難病患者地域関係者 研修会 「パーキンソン病患者の日常生活における介助具の選び方」 講師：リハビリテーションセンター職員	能登中部 保健福祉 センター	18
【石川中央東】 H30. 1. 30(火) 【石川中央西】 H30. 1. 31(水) 【能登北部】 H30. 2. 2 (金) 【能登中部】 H30. 2. 8 (木) 【南加賀】 H30. 3. 20(火) 15:40～16:00	(難病支援のための介護支援専門員等地域関係者研修) *リハビリテーション技術支援ネットワーク強化事業 (在宅リハビリテーション検討会) の中で実施 「難病相談・支援センター事業について」 講師：リハビリテーションセンター (難病相談・支援センター) 職員	【石川中央 東・西】 リハビリテ ーションセ ンター 【能登北部】 のと里山空港 【能登中部】 ワークパ ル 七尾 【南加賀】 小松市民 センター	37 32 21 22 38
合 計			391 人

(3) ボランティア育成研修会

病気を理解し、難病患者に対する話し相手や応援等ができるボランティアを育成する。

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
H29. 4. 23(日) 8:30～16:00	「脊髄小脳変性症、多系統萎縮症の方への対応のポイント、車椅子の介助方法について」 講師：リハビリテーションセンター (難病相談・支援センター)職員	富山県立とやま健康パーク	10
H29. 9. 10(日) 9:30～12:30	「医療的ケア児の現状について」 講師：リハビリテーションセンター (難病相談・支援センター)職員	小松市第1地区 コミュニティーセンター	1
合 計			11 人

4 連携会議

関係機関同士で情報交換を行い、互いの連携を図る。

① 難病患者団体等連絡会

実施年月日	連絡会テーマ	会 場	参加者数
H29. 5. 26(金) 13:30～15:30	平成 29 年度 難病関連事業計画について	リハビリテーションセンター	12
H30. 2. 28(水) 13:30～15:30	平成 29 年度 難病関連事業実績について	〃	18
合 計			30 人

② 難病事業にかかる県拠点病院との連携

県拠点病院である金沢大学附属病院、金沢医科大学病院、医王病院に難病事業の周知を行った。特に、医王病院とは年度当初に事業打合せを行い、連携強化を図った。

③ 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業にかかる関係機関との連携

教育機関への事業周知を目的に、平成 29 年度教職員等リハビリテーション研修会の選択講座の中で小児慢性特定疾病児童等自立支援事業について情報提供し、協力依頼した。

5 患者会支援

患者会等からの要望に応じ、講義や実技、交流会等の活動支援を行う。

実施年月日	内 容	会 場	参加者数
H29. 4. 15(土) 9:30～12:00	いしかわSCD友の会 2017年度総会 (SCD：脊髄小脳変性症)	リハビリテーションセンター	20
H29. 4. 23(日) 8:30～16:00	いしかわSCD友の会交流会「日帰りバス旅行」	富山県立とやま健康パーク	25
H29. 4. 23(日) 13:00～16:00	石川県OPLL友の会 第16回定期総会・医療講演会 (OPLL：後縦靭帯骨化症)	金沢市近江町 交流プラザ	30
H29. 5. 21(日) 14:00～16:00	北陸リウマチ膠原病支援ネットワークサポーター会議	第1生命ビル ヴィサージュ	16

実施年月日	内 容	会 場	参加者数
H29. 6. 18(日) 13:30～16:30	日本ALS協会石川県支部総会 (ALS:筋萎縮性側索硬化症)	医王病院	30
H29. 6. 25(日) 13:00～15:30	公益社団法人日本リウマチ友の会 第46回石川支部大会・医療講演会	金沢市松ヶ枝 福祉館	40
H29. 7. 2 (日) 13:30～16:00	もやもや病の患者と家族の会交流会	〃	20
H29. 9. 18(月) 12:00～15:00	石川県OPLL友の会ランチタイム交流会	町家サロン むじん蔵	13
H29. 9. 23(土) 12:30～16:30	パーキンソン病友の会運動を楽しむ会	金沢市障害者 高齢者体育館	50
H29. 9. 23(土) 13:30～16:00	いしかわIBD結の会公開交流会 (IBD:炎症性腸疾患)	金沢大学附属病 院CPTセンター	15
H29. 9. 28(木) 14:00～16:00	後縦靭帯骨化症等患者・家族のつどい 講師:リハビリテーションセンター職員	南加賀保健福 祉センター	22
H29. 10. 7(土) 10:00～12:30	第14回パーキンソン病体操教室 inKMC 講師:リハビリテーションセンター (難病相談・支援センター) 職員	金沢医療セン ター	60
H29. 10. 10(火) 14:00～15:00	(難病交流会) 「理学療法士さんと体操しよう」 講師:リハビリテーションセンター職員	リハビリテーショ ンセンター	10
H29. 10. 19(木) 14:30～15:15	(石川中央保健福祉センター患者家族交流会) パーキンソン病患者・家族のつどい 講師:リハビリテーションセンター職員	石川中央保健 福祉センター	12
H29. 10. 31(火) 14:00～15:00	(南加賀保健福祉センター患者家族交流会) パーキンソン病関連疾患患者・家族のつどい 講師:リハビリテーションセンター職員	南加賀保健福 祉センター	25
H29. 11. 8(水) 14:45～15:30	(石川中央保健福祉センター患者家族交流会) 後縦靭帯骨化症と黄色靭帯骨化症の患者・家族のつどい 講師:リハビリテーションセンター職員	リハビリテーショ ンセンター	35
H29. 11. 10(金) 14:30～15:15	(石川中央保健福祉センター患者家族交流会) パーキンソン病患者・家族のつどい 講師:リハビリテーションセンター職員	内灘町役場	9
H29. 11. 22(水) 14:00～16:15	(能登中部保健福祉センター患者家族交流会) 黄色靭帯・後縦靭帯骨化症講演会と患者・家族交流会 講師:リハビリテーションセンター職員	能登中部保健 福祉センター	17
H29. 12. 3(日) 13:00～16:00	第12回北陸リウマチ膠原病支援ネットワークの集い	ホテル日航金沢	132

実施年月日	内 容	会 場	参加者数
H29. 12. 12(火) 13:30～16:00	(難病交流会) 「作業療法士さんとマクラメブレスレットを作ろう」 講師：リハビリテーションセンター職員	リハビリテーションセンター	7
H29. 12. 15(金) 13:30～15:30	(能登北部保健福祉センター患者家族交流会) 難病相談会「冬をあたたかく過ごすために」 講師：リハビリテーションセンター職員	能登空港ターミナルビル	3
H30. 2. 17(土) 14:00～16:00	全国パーキンソン病友の会 石川県支部平成 29 年度セミナー	県社会福祉会館	72
合 計			663 人

6 啓発・普及

難病や小児慢性特定疾病の患者や家族に対して、当センターや地域の保健所の活動及び患者会情報を適切な時期に的確に情報提供する。

難病医療費受給者へ事業案内のチラシを作成し、配布。(難病 9,900 部、小児慢性 1,000 部)

IV 高次脳機能障害相談・支援センターの状況

1 高次脳機能障害相談

交通事故や脳血管障害等で脳に損傷を負い、注意障害、記憶障害等の症状により社会適応が困難な方に対して、生活上の悩み等に関する相談に応じて高次脳機能障害者や家族の不安の軽減を図る。

電 話	面 接	F A X等	家庭訪問	合計(実人数)
680	169	62	53	964(127)人

2 高次脳機能障害者及び家族を対象にした教室

(1) 生活支援教室

当事者同士の交流や活動を通じて障害の自己認識を深め、また、障害を補うための代替手段を獲得することで、高次脳機能障害者の地域での安定した生活への移行を図る

実施年月日	内 容	会 場	回数	参加人数 (のべ人数)
毎週水曜日	スピーチ、認知トレーニング、作業活動等	リハビリテーションセンター、ほっとあんしんの家	48回	8(120)人

(2) 就労者のつどい

当事者同士が就労の中で生じる悩みを語り合い、精神的な安定を図る

実施年月日	内 容	会 場	参加者数
H29.7.29(土) 13:30~16:00	レクリエーション(料理) 座談会(仕事について)	リハビリテーションセンター ほっとあんしんの家	6
H29.12.9(土) 13:30~16:00	レクリエーション(ボードゲーム) 座談会(仕事について)	〃	7
合 計			13人

(3) 講 座

本人・家族が高次脳機能障害に関する理解を深め、適切な対応を図り、参加者同士の交流も促す。

実施年月日	内 容	会 場	参加者数
H29.7.25(火) 13:30~15:30	(第1回) 講義「高次脳機能障害の理解と対応について」 講師：リハビリテーションセンター作業療法士 座談会	リハビリテーションセンター	9
H29.9.12(火) 13:30~15:30	(第2回) 講義「就業について」 講師：金沢障害者就業・生活支援センター 就業支援担当 小鍛治 康生 座談会	〃	12

実施年月日	内 容	会 場	参加者数
H29. 11. 28(火) 13:30～15:30	(第3回) 講義「利用できる社会資源について」 講師：リハビリテーションセンター保健師 座談会	〃	5
H30. 1. 16(火) 13:30～15:30	(第4回) 講義「患者と家族の会について」 講師：高次脳機能障害患者と家族の会 つばさ 会長 上口 由美子 座談会	〃	12
合 計			38 人

(4) その他

実施年月日	内 容	会 場	回数	参加者数 (延べ人数)
隔週水曜日	パソコン・タブレット教室	リハビリテーション センター	22 回	2(10) 人

3 高次脳機能障害研修

高次脳機能障害者の支援に必要な知識と技術を習得し、支援者が地域生活を見据えた支援を行うことができることを目指す。

(1) センター主催分

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
H29. 8. 31(木) 13:30～16:00	(支援担当者研修) 講義1 「高次脳機能障害の評価と対応」 講義2 「高次脳機能障害の対応について」 講義3 「高次脳機能障害相談・支援センターの紹介」 講師：リハビリテーションセンター職員	リハビリ テーション センター	103
H29. 10. 14(土) 14:00～16:00	(専門職研修) 講義1 「地域生活を支える高次脳機能障害の支援 — 遂行機能障害を中心に—」 講師：帝京平成大学健康メディカル学部言語聴覚学科 教授 廣實 真弓 (言語聴覚士) 講義2 「高次脳機能障害相談・支援センターの紹介」 講師：リハビリテーションセンター職員	〃	44
合 計			147 人

(2) 他機関主催分 (講師協力)

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
H29. 6. 15(木) 13:30～16:00	(NASVA介護料受給者及び介護者の皆さまの交流会) 講義「石川県高次脳機能障害相談・支援センターの紹介」 講師：リハビリテーションセンター 保健師	河北中央病院	12
H29. 7. 20(木) 13:30～15:00	(金沢市障害者基幹相談支援センター合同スキルアップ研修) 「障害の理解を深めよう～高次脳機能障害について～」 講義1「石川県高次脳機能障害相談支援センター紹介」 講師：リハビリテーションセンター 保健師 講義2「高次脳機能障害の基本的な理解」 講師：リハビリテーションセンター 作業療法士	リハビリテーションセンター	13
H29. 10. 22(日) 17:00～18:30	(石川県医師会労災保険医集談会) 講義「高次脳機能障害相談・支援センターの活動紹介」 講師：リハビリテーションセンター 保健師	ホテル金沢	20
合 計			45 人

4 高次脳機能障害普及啓発

(1) 普及啓発講演会

一般県民向けの講演会の実施により、高次脳機能障害への理解を深め、知識の普及を図る。

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
H29. 9. 10(日) 13:30～15:30	(普及啓発講演) *高次脳機能障害患者と家族の会つばさと共催 講義「日々コウジ中の夫とともに ～高次脳機能障害の夫を支える妻の体験記～」 講師：漫画家、イラストレーター 柴本 礼	リハビリテーションセンター	人 68
H29. 11. 25(土) 13:30～16:00	(石川県高次脳機能障害リハビリテーション講習会) *高次脳機能障害患者と家族の会つばさと共催 講義1「突然、妻が倒れたら ～高次脳機能障害者の家族から望むこと～」 講師：フジテレビの解説委員・キャスター 介護ジャーナリスト 松本 方哉 講義2「高次脳機能障害のある方が利用できる 暮らしに役立つ社会保障関連制度」 講師：金沢市地域包括支援センターかみあらや 主任介護支援専門員 馬渡 徳子 シンポジウム 「本人・家族の暮らしを支える社会の実現に向けて」	〃	118
合 計			186 人

(2) 情報発信

リーフレットによる情報発信を行い、高次脳機能障害への理解と知識の普及を図る。

5 高次脳機能障害支援関係者連絡会

高次脳機能障害者の社会参加の促進に向けた各機関の役割を理解し、支援上の課題や連携について検討することで関係機関のネットワークを強化する。

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
H29. 10. 2(月) 15:00～16:30	医療機関における高次脳機能障害への対応状況や課題の聞き取り、またセンターの事業や支援事例の紹介	石川県立中央病院	5
H29. 12. 27(水) 17:00～18:30	〃	金沢医科大学病院	8
H30. 1. 22(月) 14:30～15:30	〃	金沢大学附属病院	3
H30. 1. 22(月) 16:30～17:30	〃	浅ノ川総合病院	16
H30. 1. 23(火) 15:30～16:30	〃	金沢脳神経外科病院	5
合 計			37人

6 医療機関実態調査

県内の医療機関における高次脳機能障害への対応状況を把握する。

7 患者・家族会支援

高次脳機能障害患者と家族の会つばさの円滑な活動運営を支援する。

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
H29. 4. 16(日) 14:00～16:00	定例会	リハビリテーションセンター	12
H29. 6. 8 (木) 15:00～16:00	石川県高次脳機能障害リハビリテーション講習会 第1回実行委員会	〃	4
H29. 6. 17(土) 15:30～20:00	生活訓練キャンプ	IOX-AROSA イオックスアローザ	38
H29. 10. 6(金) 15:00～16:00	石川県高次脳機能障害リハビリテーション講習会 第2回実行委員会	リハビリテーションセンター	6
H29. 11. 15(木) 15:00～16:00	石川県高次脳機能障害リハビリテーション講習会 第3回実行委員会	〃	6
合 計			66人